

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-502 改1
提出年月日	平成30年8月21日

日本原子力発電株式会社
東海第二発電所 工事計画審査資料
放射性廃棄物の廃棄施設
気体，液体又は固体廃棄物処理設備
固体廃棄物処理系
(使用済樹脂移送系)

(本文)

放射性廃棄物の廃棄施設

2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備

2.3 固体廃棄物処理系

2.3.2 使用済樹脂移送系

(10) 主配管

2.3.2 使用済樹脂移送系

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径* ¹ (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
使用済樹脂移送系	使用済樹脂 貯蔵タンク入口管 分岐点 ～ 使用済樹脂 貯蔵タンク B	1.32* ²	65	114.3	6.0* ¹	SUS316TP	変更なし				
	使用済樹脂 貯蔵タンク B 入口管分岐点 ～ 使用済樹脂 貯蔵タンク C	1.32* ²	65	114.3	6.0* ¹	SUS316TP					
	* ³ 使用済樹脂 貯蔵タンク B ～ 弁 NR24-F007A	静水頭	65	60.5	3.9* ¹	SUS316TP					
	* ⁴ 使用済樹脂 貯蔵タンク C ～ 弁 NR24-F007B	静水頭	65	60.5	3.9* ¹	SUS316TP					

注記 *1: 公称値を示す。

*2: S I 単位に換算したもの。

*3: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済樹脂貯蔵タンク (B) より第 1 元弁まで」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済樹脂貯蔵タンク (C) より第 1 元弁まで」と記載。

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (22/30)

設備区分		系統名	機器区分	変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体, 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	使用済樹脂移送系	主配管	使用済樹脂貯蔵タンク 入口管分岐点 ～ 使用済樹脂貯蔵タンク B	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—		
				使用済樹脂貯蔵タンク B 入口管分岐点 ～ 使用済樹脂貯蔵タンク C	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—		
				使用済樹脂貯蔵タンク B ～ 弁 NR24-F007A	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—		
				使用済樹脂貯蔵タンク C ～ 弁 NR24-F007B	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—		

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (30/30)

設備区分	系統名	機器区分	名称	変更前				変更後			
				設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	その他	排気筒	主排気筒	C-1	-	-	-	変更なし			
			非常用ガス処理系排気筒	S	-	-	-	変更なし			

注記 *1：表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「5 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。

*2：当該ラインについては、主配管に該当しないため、記載の適正化を行う。